

事務事業調書

平成27年度

事業No	391	課	農務課	係	農政係	起案者	岩永耕一郎
						決裁者	杉浦威久
事務事業名	農業後継者対策事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	5 活かにみちた環境づくり 1 農業 1 農業 4 効率的かつ安定的な農業経営 1 農業経営体の育成			予算科目(会計)	一般会計
				予算科目(款・項・目)	30-5-15
				総合計画以外の計画	食料・農業・交流基本計画
				関連する総合計画の施策	5-1-1-1-1, 5-1-1-5-3
				性質区分	市の内部事務事業
根拠法令	無				
法定受託事務	無				
公約・議会答弁	無				
陳情・市民要望	無				
実施方法	一部委託	委託先	行政関連団体		
実施期間	開始	平成11年度	経過	16年目	終了 期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	子ども(親子)が		~になる	職業として農業に興味を持つようになる。
事務事業の内容	安城農業士会及びAS4Hクラブの育成、活動を支援します。農業後継者の育成に繋がる農業体験を行う市民団体の活動を支援します。				
改善・対策の履歴	H20: 30周年記念事業を開催して、会員相互の情報交換ができました。 H21: 食育活動(親子ふれあい農業体験)を行い消費者との交流を図りました。				

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	4,176	4,146	4,226	4,140	4,226
財源計	1,152	1,122	1,202	1,116	1,202
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,152	1,122	1,202	1,116
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,024 (0.48)	3,024 (0.48)	3,024 (0.48)	3,024 (0.48)	3,024 (0.48)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	体験活動の実施	見込	17.00	20.00	23.00	23.00
			実績	25.00	31.00	27.00	
	指標名 (単位)	実施回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,975	1,951	1,950	
			活動にかかるコスト (千円)	79.00	62.94	72.22	
活動2	活動名 (活動内容)	安城農業士会事業の実施	見込	6.00	6.00	6.00	6.00
			実績	6.00	6.00	6.00	
	指標名 (単位)	実施回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,911	1,906	1,900	
			活動にかかるコスト (千円)	318.50	317.67	316.67	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	後継者事業への参加者(人)			目標	900.00	1,000.00	1,200.00	1,300.00
				実績	1,297.00	1,486.00	1,631.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	農業体験をすることにより、地産地消の意識の向上にもつながっています。
----	------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	体験活動の実施回数が減り、活動のコストが増加しました。
成果	体験活動を企画運営する市民団体が、自ら広く広報することで多くの参加者が集まりました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
市民団体の行う事業の広報について支援するなど、より多くの方が体験活動に参加できるようにしていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	今後とも農業の継続・発展のため農業後継者確保につながる事業を進めていく必要があります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	392	課	農務課	係	農政係	起案者	長谷部沙緒里
						決裁者	杉浦威久
事務事業名	農業資金支援事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	5 活にみちた環境づくり 1 農業 1 農業 4 効率的かつ安定的な農業経営 1 農業経営体の育成			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	30-5-15	
				総合計画以外の計画	食料・農業・交流基本計画	
				関連する総合計画の施策	5-1-1-4-1	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	昭和37年度	経過	53年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	農業者が			~になる	安定的な経営を維持できる
事務事業の内容	農業経営者の求めに応じ、必要な資金融資手続きと利息の補助を行います。					
改善・対策の履歴	平成19年度から21年度にかけて認定農業者が制度資金融資を受ける場合は国施策として実質無利子化されてきました。 平成22年度からは条件を満たせば貸付当初5年間に限り利子助成されます。 平成24年度からは人・農地プランの位置づけられた認定農業者に対し、国施策により実質無利子化が実施されました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	391	423	3,152	509	3,102
財源計	139	171	2,900	257	2,850
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	139	171	2,900	257
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	252 (0.04)	252 (0.04)	252 (0.04)	252 (0.04)	252 (0.04)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	利子補助	見込	8.00	6.00	6.00	9.00
			実績	6.00	7.00	9.00	
	指標名 (単位)	件数(件)	活動の総事業費 (千円)	391	423	509	
			活動にかかるコスト (千円)	65.17	60.43	56.56	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	認定農業者数(人)			目標	184.00	179.00	179.00	190.00
				実績	173.00	167.00	167.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	190.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	県普及課及びJAとの連携により必要な資金の融資が円滑に行われました。
----	------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	昨年度と比較すると、事業費の利子補助金額が増加しましたが、利子補助件数も増加しているため、コストは減少しました。
成果	認定農業者になることで様々な融資が受けられることが認識されてきており、農業経営者の負担の軽減を図る資本装備の高度化や経営改善にかかる負担の軽減につながっています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
農業経営者には、融資制度の有利性を説明するとともに過剰投資にならないよう、県普及課、JAとも協議しながら進めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	県普及課、JAと連携し、認定農業者等に融資支援を進めていく必要があります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	395	課	農務課	係	農政係	起案者	長谷部沙緒里
						決裁者	杉浦威久
事務事業名					事業種別	市民サービス	
地産地消事業							

1 事業概要

総合計画体系	5 活かにみちた環境づくり 1 農業 1 農業 5 食と農の再生 1 「食」の安全と安心の確保			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		30-5-15
				総合計画以外の計画		食料・農業・交流基本計画食育推進事業
				関連する総合計画の施策		5-1-1-5-2
				性質区分		市の内部事務事業
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有		H17.6給食における地産地消の推進			
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	(農業者団体)			
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	地元農産物を使うようになる。	
事務事業の内容	地元の農産物を載せたチラシの作成・配布や、イベント時の地元農産物や加工品の無料配布を通じて、地元農産物のPRを進め、地産地消の推進を図ります。					
改善・対策の履歴	平成20年度作成の食育推進計画の中で、地産地消の推進を記述しました。 平成22年度見直しの食料農業交流基本計画において、引き続き地産地消の推進を記述しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,245	2,341	2,195	2,112	2,196
財源計	985	1,081	1,124	1,041	1,125
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	985	1,081	1,124	1,041
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	イベント時のPR活動	見込	4.00	4.00	4.00	5.00
			実績	5.00	5.00	5.00	
	指標名 (単位)	実施回数(回)	活動の総事業費 (千円)	962	1,055	981	
			活動にかかるコスト (千円)	192.40	211.00	196.20	
活動2	活動名 (活動内容)	啓発チラシ作成	見込	68,800.00	69,300.00	70,100.00	71,000.00
			実績	69,300.00	70,000.00	71,000.00	
	指標名 (単位)	発行部数(部)	活動の総事業費 (千円)	366	369	403	
			活動にかかるコスト (千円)	0.01	0.01	0.01	
活動3	活動名 (活動内容)	まちなか産直市の開催	見込	10.00	10.00	10.00	10.00
			実績	10.00	10.00	10.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	917	917	728	
			活動にかかるコスト (千円)	91.70	91.70	72.80	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	産地直売施設数(か所)			目標	6.00	6.00	6.00	6.00
				実績	6.00	6.00	6.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	給食地元農産物購入割合(%) (碧海5市産青果物の購入量/青果物全購入量)(%)			目標	40.00	40.00	40.00	40.00
				実績	49.00	45.00	47.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	地元の農業に対する関心が高まるとともに、消費者と農業者との交流が行われています。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	イベント時のPR活動については、PR時に使用する物品等の作成に係る事業費の減少により、活動コストが減少しました。
成果	あいち中央農業協同組合など関連団体の積極的な取り組みや給食課の地元農産物購入の取り組みにより目標を達成できています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
イベント時のPRのほか、市ウェブサイトを活用するなど一層のPRを図ります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	市民に地産地消の大切さ、農業の大切さを今後もPRし、地産地消の推進を図っていく必要があります。

事務事業調査

平成27年度

事業No	396	課	農務課	係	農政係	起案者	岩永耕一郎
						決裁者	杉浦威久
事務事業名					都市農村交流事業	事業種別	市民サービス

1 事業概要

総合計画体系	5 活力にみちた環境づくり			予算科目(会計)		一般会計
	1 農業			予算科目(款・項・目)		30-5-15
	1 農業			総合計画以外の計画		
	1 生産基盤			関連する総合計画の施策		5-1-1-1-1
	1 ネットワーク農業の充実			性質区分		市の内部事務事業
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	全部委託	委託先	行政関連団体			
実施期間	開始	平成17年度	経過	10年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	農業者と交流し、農業に親しみ理解するようになる	
事務事業の内容	地元農業者などで組織する実行委員会主催による「ふれあい田んぼアート」を支援することで、田植え、稲刈り体験等を通じて都市と農村の交流を図ります。					
改善・対策の履歴	平成21年度は、米米ファームと田んぼアートの合同開催としました。 平成22年度からは、地元農業者などで組織する実行委員会主催による田んぼアートとしました。 (実行委員会の自主性に可能な限り委ねる形で協働して事業を進めます。)					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,827	5,105	2,087	2,089	2,183
財源計	2,000	2,900	575	577	671
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,000	2,900	575	577
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,827 (0.29)	2,205 (0.35)	1,512 (0.24)	1,512 (0.24)	1,512 (0.24)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	打合等への参加	見込	15.00	15.00	10.00	10.00
			実績	12.00	14.00	13.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,512	1,890	1,197	
			活動にかかるコスト (千円)	126.00	135.00	92.08	
活動2	活動名 (活動内容)	交流事業補助	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	補助事業(一式)	活動の総事業費 (千円)	2,315	3,215	715	
			活動にかかるコスト (千円)	2,315.00	3,215.00	715.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	交流事業参加者数(人)			目標	2,500.00	1,600.00	1,400.00	1,400.00
				実績	11,250.00	1,150.00	1,430.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	田植えや稲刈り等に参加してもらうことで、農業に対する理解や地産地消の推進を図ることができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	特別なイベントは無く、活動コストが減少しています。
成果	目標を超える参加者があり、農業への理解や地産地消の推進等を図ることができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
市民組織である実行委員会が主催しているため、行政としては自主性を損ねない範囲で側面支援に努めていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	安城農業に対する理解や地産地消の推進を図るためにも、今後も実行委員会へ支援をしていく必要があります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	393	課	農務課	係	農政係	起案者	岩永耕一郎
						決裁者	杉浦威久
事務事業名	農業生産研究育成事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	5 活力にみちた環境づくり 1 農業 1 農業 4 効率的かつ安定的な農業経営 1 農業経営体の育成			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	30-5-15	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	農業従事者が		~になる	表彰されることにより生産意欲を高めるようになる。	
事務事業の内容	農用地利用改善組合が行う品評会等に対し、市長賞の付与申請に基づき、賞状(額付)及び賞品を交付します。					
改善・対策の履歴	農用地利用改善組合に周知をしました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	658	684	713	677	713
財源計	28	54	83	47	83
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	28	54	83	47
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	市長賞交付業務	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	交付事務(一式)	活動の総事業費 (千円)	658	684	677	
			活動にかかるコスト (千円)	658.00	684.00	677.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	市長賞受賞者数(人)		目標	13.00	13.00	13.00	13.00
			実績	12.00	13.00	14.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	達成
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	表彰されることで良い農産物を作る意欲が高まり、結果的に農業の発展につながっています。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	賞状の作成を内製するなど経費の削減に努めています。	
成果	愛知県主催のいちじくコンテストが安城市で開催されたため、目標を1件上回ることができました。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
多くの農用地利用改善組合で品評会の実施ができるよう支援を行うとともに品評会の実施を合同会議等でも推進します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	農業者の意欲を高めるとともに、地域住民との交流や農業への理解を深めることにもつながりますので、今後も推進していく必要があります。

事務事業調査

平成27年度

事業No	398	課	農務課	係	農政係	起案者	長谷部沙緒里
						決裁者	杉浦威久
事務事業名		特産品事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	5 活力にみちた環境づくり 1 農業 1 農業 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		30-5-15
				総合計画以外の計画		食料・農業・交流基本計画
				関連する総合計画の施策		5-3-1-1-1
				性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営		委託先			
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	特産品生産者が			~になる	特産品の有効利用と、高付加価値化を図ることが出来る。
事務事業の内容	安城市・JAあいち中央・県農業改良普及課・安城商工会議所の4者で構成する安城市農畜産物特産品協議会(特産協)が実施する「安城市の農畜産物の流通、消費の実態を把握し、多様化するニーズをとらえ、産地として評価を高める活動及び高付加価値開発を進め、農業の活性化を図る事業」を支援します。					
改善・対策の履歴	平成20年度：県の補助金を活用して、県普及課と農家の方がイチジクソースを製造・販売を行いました。 平成22年度：商工会議所主宰の愛知学泉大学との産学連携事業に参画しました。(地元農産物を取り入れた健康弁当の製作) 平成24年度：産官学連携事業を継続し、ヘルスメイトの協力を得て、地元農産物を使用した朝食メニューを開発しました。 平成25年度：加工開発部会を新設しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410
財源計	150	150	150	150	150
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	150	150	150	150
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	総会幹事会の開催	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催事務(一式)	活動の総事業費(千円)	780	780	780	
			活動にかかるコスト(千円)	780.00	780.00	780.00	
活動2	活動名 (活動内容)	産官学連携事業に関する会議等の出席	見込	5.00	5.00	5.00	5.00
			実績	11.00	12.00	11.00	
	指標名 (単位)	会議等出席回数(回数)	活動の総事業費(千円)	630	630	630	
			活動にかかるコスト(千円)	57.27	52.50	57.27	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	PR活動実施回数(回)			目標	5.00	5.00	5.00	5.00
				実績	9.00	7.00	8.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	産官学連携事業数(事業)			目標	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績	1.00	1.00	1.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	特産品のPRだけでなく、市民に向けて食や健康について啓発をすることができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	産官学連携事業において、安城産の米粒、米粉、甘酒を使用した「米粉・甘酒ジェラート」の開発・PRに取り組み、例年同様の会議等出席を行い、活動コストに大きな増減はありませんでした。
成果	産官学連携事業は、ジェラート開発を図る中で産官学の連携がうまくでき、産官学のどの部門にとっても成果を得ることができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
新たに開発した「米粉・甘酒ジェラート」のチラシをデンパーク等に置くなど今後ともPRを継続する必要があります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	産官学連携事業や加工開発部会による活動により、新たな特産品開発を推進していく必要があります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	380	課	農務課	係	振興係	起案者	中尾元昭
						決裁者	杉浦威久
事務事業名	生産部会等活動支援事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	5 活気にみちた環境づくり 1 農業 1 農業 4 効率的かつ安定的な農業経営 2 農業団体の育成		予算科目(会計)	一般会計
			予算科目(款・項・目)	30-5-15
			総合計画以外の計画	安城市食料・農業・交流基本計画
			関連する総合計画の施策	
			性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの
根拠法令	無			
法定受託事務	無			
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			
実施方法	直営	委託先		
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目
			終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	農畜産業の生産者部会が		~になる
		技術・研究等の組織活動を活性化させる。		
事務事業の内容	あいち中央農業協同組合の生産部会の開催する技術・研究会等の組織活動を活性化し、農作物の生産振興を図るため、生産部会の活動費の一部を支援します。			
改善・対策の履歴	平成25年度 あいち中央農業協同組合と生産部会への補助に関し打ち合わせを実施しました。 平成26年度 あいち中央農業協同組合と生産部会への補助に関し打ち合わせを実施し、花きの地域振興強化のため補助額を増額しました。			

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,399	2,470	2,785	2,785	2,815
財源計	1,210	1,210	1,210	1,210	1,240
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,210	1,210	1,210	1,210
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	189 (0.03)	1,260 (0.20)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	あいち中央農業協同組合 生産部会活動補助	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	数(一式)	活動の総事業費 (千円)	1,399	1,399	1,399	
			活動にかかるコスト (千円)	1,399.00	1,399.00	1,399.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	技術研究会の開催(部会)			目標	16.00	16.00	16.00	16.00
				実績	16.00	16.00	16.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	生産部会の活動により、農業者間で生産技術の向上及び生産量の拡大並びに生産部会への加入促進、組織強化等を実施することができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	あいち中央農業協同組合を通じての生産部会への一括補助であるため、活動にかかるコストに変化はありませんでした。
成果	生産部会での活動により、農業者間の交流や、新技術の取得、技術向上等の機会を設けることができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
あいち中央農業協同組合、愛知県農業改良普及課と打合せしながら生産部会の活動がより良いものとなるよう検討してください。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	農業者間の情報交換、生産技術向上のため、各作物等における生産部会の活動は重要であるため、引き続き生産部会の活動を支援していく必要があります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	377	課	農務課	係	振興係	起案者	小島瞳
						決裁者	杉浦威久
事務事業名	水田農業構造改革事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	5 活かにみちた環境づくり 1 農業 1 農業 4 効率的かつ安定的な農業経営 1 農業経営体の育成			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	30-5-15	
				総合計画以外の計画	安城市食料・農業・交流基本計画	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	有	主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	農業者が		~になる	農用地利用改善組合を単位とした米の需給調整ができる。	
事務事業の内容	農用地利用改善組合・農務連絡員合同会議を通じて、安城市、あいち中央農業協同組合、安城市地域農業再生協議会の米穀の需給調整の内容を連絡し、各農用地利用改善組合で米の需給調整が円滑・確実に実施できるように支援します。					
改善・対策の履歴	平成23年度に農業者戸別所得補償制度に対応するため、水田管理システムを修正しました。 平成24年度に地域ごとの地図を作成・配布することで事務の効率化を図りました。 平成25年度に経営所得安定対策に対応するため、水田管理システムを修正しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	17,904	20,996	25,085	20,235	25,030	
財源計	6,501	12,176	16,580	11,730	16,525	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	655	6,025	9,666	5,587	9,650
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	5,846	6,151	6,914	6,143	6,875
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	11,403 (1.81)	8,820 (1.40)	8,505 (1.35)	8,505 (1.35)	8,505 (1.35)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	農用地利用改善組合・農務連絡員合同会議の開催	見込	4.00	4.00	4.00	4.00
			実績	4.00	4.00	4.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	2,030	2,002	2,030	
			活動にかかるコスト(千円)	507.50	500.50	507.50	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	水稲配分面積に対する水稲作付率(%)		目標	100.00	100.00	100.00	100.00
			実績	94.72	94.30	93.04	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	農用地利用改善組合・農務連絡員合同会議を通じて、実施計画書の取りまとめについて説明することで、実施計画書の配布回収がスムーズに実施できました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	農用地利用改善組合・農務連絡員合同会議は参集対象が限定されているため、活動にかかるコストに大きな変化はありませんでした。	
成果	農用地利用改善組合・農務連絡員合同会議を定期的で開催することで、農用地利用改善組合・安城市・あいち中央農業協同組合・安城市地域農業再生協議会の間で情報共有ができ、農用地利用改善組合単位での米の需給調整が実施できています。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
平成30年の需給調整制度の改革に向けて、農用地利用改善組合・農務連絡員合同会議を通じて情報の提供と共有に努めること。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	需給調整を確実に実施するためと、今後予定される需給調整制度の改革に向けて、農用地利用改善組合・農務連絡員合同会議を活用して情報の共有を図っていく必要があります。

事務事業調査

平成27年度

事業No	379	課	農務課	係	振興係	起案者	太田貴之
						決裁者	杉浦威久
事務事業名	有害鳥獣駆除事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	5 活にみちた環境づくり 1 農業 1 農業 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	30-5-15	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	有	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律 第9条				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	全部委託	委託先	その他(安城猟友会)			
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	農業者が		~になる	有害鳥獣による農作物被害を軽減することができる。	
事務事業の内容	安城猟友会の銃による有害鳥獣駆除やカラス用捕獲檻の設置、小動物用捕獲檻の設置により有害鳥獣による農作物被害の軽減を図ります。					
改善・対策の履歴	平成24年度から農家の要望により実施区域を決定する地域駆除を追加実施しました。 平成25年度に捕獲檻を2台追加(計5台)し農家の要望に応えやすくなりました。 平成25年度に安全に捕獲できるカラス用捕獲檻を導入しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	2,156	4,177	3,934	3,901	3,957	
財源計	455	1,027	784	751	807	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	190	290	290	290	290
	一般財源	265	737	494	461	517
受益者負担金	0	0	290	290	290	
職員人件費(従事職員数)	1,701 (0.27)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)	
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	銃による有害鳥獣駆除回数	見込	6.00	4.00	4.00	4.00
			実績	6.00	4.00	4.00	
	指標名 (単位)	駆除回数(回)	活動の総事業費(千円)	695	695	695	
			活動にかかるコスト(千円)	115.83	173.75	173.75	
活動2	活動名 (活動内容)	みつばち分ぼう処理	見込	5.00	5.00	5.00	4.00
			実績	3.00	4.00	3.00	
	指標名 (単位)	数(回)	活動の総事業費(千円)	113	113	113	
			活動にかかるコスト(千円)	37.67	28.25	37.67	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	有害鳥獣駆除実績(数)		目標	100.00	150.00	150.00	150.00
			実績	107.00	258.00	161.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>あいち中央農業協同組合の生産部会や、農用地利用改善組合から有害鳥獣駆除の実施希望地域を出してもらうことで、農作物の生育時期や地域の実態に即した効果的な駆除作業が実施できました。 平成25年度から新たにカラス用捕獲檻を実施したことにより駆除実績が増加しています。</p>
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	有害鳥獣駆除は安城猟友会が実施可能な駆除回数が同様であることから、活動にかかるコストに変化はありませんでした。みつばちの分ぼう処理は碧海養蜂組合に実施していただいておりますが、みつばちの分ぼうの発生数に応じてコストが変化しています。	
成果	平成25年度にカラス用捕獲檻を導入し、約180羽を駆除し大幅に増やすことができましたが、平成26年度は約70羽と減少したため、有害鳥獣駆除実績は、大きく減少しました。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
導入したカラス用捕獲檻が引き続き十分な効果を発揮できるよう、安城猟友会との打ち合わせを十分に行ってください。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	有害鳥獣駆除は、農作物の鳥獣被害を軽減するために欠かせない事業なので、安城猟友会と協力しながら、安全で確実な駆除を実施していく必要があります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	385	課	農務課	係	振興係	起案者	中尾元昭
						決裁者	杉浦威久
事務事業名	環境保全型農業推進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	5 活力にみちた環境づくり 1 農業 1 農業 3 自然循環機能の維持増進 2 環境保全型農業の推進		予算科目(会計)	一般会計
			予算科目(款・項・目)	30-5-15
			総合計画以外の計画	安城市食料・農業・交流基本計画
			関連する総合計画の施策	
			性質区分	市の内部事務事業
根拠法令	有	持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律		
法定受託事務	無			
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			
実施方法	直営	委託先		
実施期間	開始	平成12年度	経過	15年目
			終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	農業者が	~になる	安全な農産物を生産できる。
事務事業の内容	農業が持つ多面的機能の重要性を考慮し、減農薬や有機物による作物づくりを基本として農業の自然循環機能が維持増進できるよう、環境に配慮した農業を進めます。			
改善・対策の履歴	天敵製剤購入補助については平成23年度で終了しました。 平成26年度に、衣浦東部広域行政圏環境と安全に配慮した農業推進協議会で農薬の安全使用に関するPRを実施しました。			

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	83	650	335	335	335
財源計	20	20	20	20	20
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	20	20	20	20
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	63 (0.01)	630 (0.10)	315 (0.05)	315 (0.05)	315 (0.05)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	衣浦東部広域行政圏環境農業推進協議会への支援	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	数(一式)	活動の総事業費 (千円)	83	83	83	
			活動にかかるコスト (千円)	83.00	83.00	83.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	情報交換会の回数(回)		目標	4.00	4.00	4.00	4.00
			実績	4.00	4.00	4.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	衣浦東部広域行政圏内の各市とあいち中央農業協同組合等との情報交換ができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	衣浦東部広域行政圏環境農業推進協議会への支援のみのため、活動にかかるコストに変化はありません。	
成果	衣浦東部広域行政圏内の各市とあいち中央農業協同組合等の関係機関で定期的に情報交換することにより、現状や将来に向けての課題を共有することができています。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	農業情勢が大きく変革している時期なので、衣浦東部広域行政圏内の各市とあいち中央農業協同組合等との連携を一層強化していくこと。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	衣浦東部広域行政圏内の各市とあいち中央農業協同組合等との連携を図るため継続していきます。

事務事業調査

平成27年度

事業No	1010	課	農務課	係	振興係	起案者	中尾元昭
						決裁者	杉浦威久
事務事業名	環境保全型農業直接支援対策事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	5 活力にみちた環境づくり 1 農業 1 農業 3 自然循環機能の維持増進 2 環境保全型農業の推進		予算科目(会計)	一般会計
			予算科目(款・項・目)	30-5-15
			総合計画以外の計画	安城市食料・農業交流基本計画
			関連する総合計画の施策	
			性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの
根拠法令	有	持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律		
法定受託事務	無			
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			
実施方法	直営	委託先		
実施期間	開始	平成23年度	経過	4年目
			終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	農業者が	~になる	安全・安心な農作物を生産できる。
事務事業の内容	農業者等が地球温暖化防止を目的とした、農地土壌への炭素貯留に効果の高い営農活動や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む場合に支援を行う環境保全型農業直接支援対策に対して助成する。			
改善・対策の履歴	平成26年度に、あいち中央農業協同組合の生産部会に対し、環境保全型農業直接支援対策の制度について説明しました。			

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	4,580	3,287	2,624	2,603	2,711
財源計	170	137	104	83	191
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	98	66	52	42
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	72	71	52	41
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	4,410 (0.70)	3,150 (0.50)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	環境保全型農業直接支援 対策補助	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	数(一式)	活動の総事業費 (千円)	485	452	398	
			活動にかかるコスト (千円)	485.00	452.00	398.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
成果1	指標名(単位)		目標	3.00	3.00	3.00	1.00
	環境保全型農業直接支援対策交付件数(件数)		実績	3.00	3.00	1.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況	達成	達成	未達成	
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	取り組み農業者が地球温暖化防止を目的とした、環境保全型農業への意識向上を図れました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	取り組み農業者数に変化がなかったが、高齢等の理由により取り組みができなかった農業者があったため交付件数が減少した。活動にかかるコストは大きな変化はありませんでした。
成果	取り組み農業者数が増加しないのは、取り組み要件が慣行栽培に比べて厳しいためと考えられます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
平成27年度からは、農業者グループ(生産部会や地域団体)から申請することに要件が変更されたため、あいち中央農業協同組合、愛知県農業改良普及課と連携して、農家に制度を周知してください。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	環境保全型農業への取り組みは地球温暖化防止のためにも重要であることから引き続き継続していく必要があります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	1016	課	農務課	係	農政係	起案者	近藤好彦
						決裁者	杉浦威久
事務事業名	食料・農業・交流推進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	5 活かにみちた環境づくり		予算科目(会計)	一般会計
	1 農業		予算科目(款・項・目)	30-5-15
	1 農業		総合計画以外の計画	
	4 効率的かつ安定的な農業経営		関連する総合計画の施策	
	1 農業経営体の育成		性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの
根拠法令	無			
法定受託事務	無			
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			
実施方法	直営	委託先		
実施期間	開始 平成24年度	経過 3年目	終了 平成26年度	期間 3年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	農用地利用改善組合、同組合員が	~になる	農業に対して自発性と創意を十分に発揮できるようになる。
事務事業の内容	地域農業の発展に必要な事業を計画及び推進します。 集落農場や地産地消、環境保全型農業の推進など地域農業の発展を推進する農用地利用改善組合及びJAあいち中央生産部会(安城地区)の活動を支援します。			
改善・対策の履歴	H18-20 : あんじょうエコ農業推進事業 H21-23 : アン・ジョー環境農業推進事業 H24- : 食料・農業・交流推進事業			

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	20,431	19,000	27,709	25,408	27,079
財源計	18,226	17,110	25,000	22,699	25,000
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	18,226	17,110	25,000	22,699
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	2,205 (0.35)	1,890 (0.30)	2,709 (0.43)	2,709 (0.43)	2,079 (0.33)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	補助金の手引き作成	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	手引き作成(式)	活動の総事業費 (千円)	315	315	315	
			活動にかかるコスト (千円)	315.00	315.00	315.00	
活動2	活動名 (活動内容)	補助金の交付	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	交付事務(式)	活動の総事業費 (千円)	19,801	18,685	24,148	
			活動にかかるコスト (千円)	19,801.00	18,685.00	24,148.00	
活動3	活動名 (活動内容)	補助要綱の見直し	見込	1.00	0.00	1.00	0.00
			実績	1.00	0.00	1.00	
	指標名 (単位)	見直し事務(式)	活動の総事業費 (千円)	315	0	945	
			活動にかかるコスト (千円)	315.00	0.00	945.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	補助金申請団体数(団体)			目標	35.00	35.00	35.00	35.00
				実績	39.00	37.00	37.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>転作等の事業が円滑に実施でき、集落内の非農家の住民との交流を深めることができました。 JAあいち中央の生産部会(安城地区)とともに安城の特性を生かした地域農業を推進することができました。</p>
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	環境に配慮した水稲直播の推進事業の申請が増加したことなどにより補助金の交付金額(申請額)が増加し、活動コストが増加しました。
成果	多くの農用地利用改善組合等がこの事業を活用しており、集落営農の発展につながっています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
JAあいち中央、県農業改良普及課及び農業者等の意見を聞きながら、安城の農業の発展に必要な補助事業を推進していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	安城の農業の発展のため、内容の見直しを行いながら今後も事業を進めていく必要があります。